TOSHIBA
Leading Innovation >>>

2008 年 9 月 22 日
東芝プラントシステム株式会社
（東証一部、証券コード：1983）

第１０回社内技能競技大会を開催

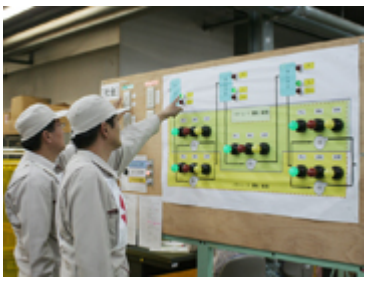
９月１９日、当社は厚木技術開発センター（厚木市戸室）で「第１０回社内技能競技大会」を開催しました。この大会は、現場の技術・技能に対する認識を高め、施工管理技術・試験調整技術および品質の向上を図ることを目的として毎年開催しているものです。今大会には競技者７６名を含む２７５名が参加しました。

１０回目の記念大会となった本大会では「電気工事士技能競技」「低圧ケーブル端末処理技能競技」「高圧ケーブル端末処理技能競技」「アーク溶接技能競技」「単管足場の組立技能競技」「施工管理技能競技」「制御回路検査技能競技（ハード）」「制御回路検査技能競技（ソフト）」の 8 種類の競技のほか、競技の一部である低圧ケーブルの端末処理作業や溶接作業の体験コーナー、制御回路（ソフト）や施工技術に関するクイズ、研究開発の展示などが設けられ、見学者も技術および品質に関する意識を深めました。そのほか、同時開催された「安全体感実演」では、用具の不適切な使用による危険体感や、巻き込まれや感電などの再現デモを行い、事故・トラブル防止の水平展開と安全に対する意識向上を訴えました。

閉会式で、石井社長は「当社の事業の原点は技術・技能にあり、今後、当社が付加価値の高いビジネスを行っていくためのベースとなる。競技で実際に体感することによって、技術・技能の重要性を再認識して欲しい」と講評しました。

電気工事士技能競技

高圧ｹｰﾌﾞﾙ端末処理技能競技


制御回路検査技能競技（ｿﾌﾄ）

見学者のアーク溶接体験

安全体感実演（巻き込まれ実演）

閉会式で講話する石井社長

以上

本件に関する問合せ先
東芝プラントシステム株式会社
業務部　広報担当　　栗原／山崎
TEL：045-500-7011　　e-mail:kouhou@toshiba-tpsc.co.jp